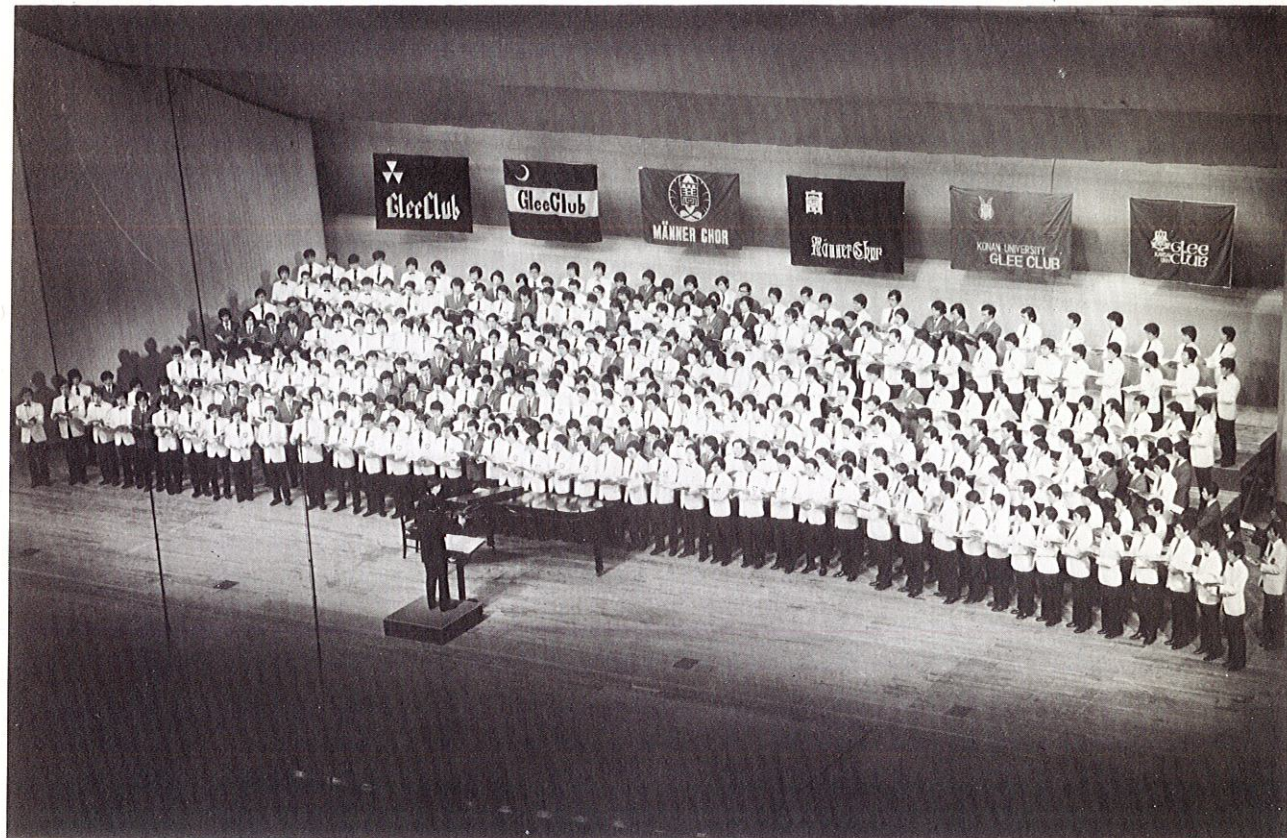


第6回

関西六大学合唱演奏会



第6回 **関西六大学合唱演奏会**
1979. 11. 3(土)



ご挨拶

皆様、今宵はようこそ私共の演奏会にお越し下さいました。

今回は六連も6回目ということで、男声合唱の、また学生合唱の原点を求め、合同指揮を北村協一先生にお願いし、先生に御快諾いただいたことは非常な幸運でありました。

今宵、様々な形で男声合唱を志す私達の情熱を少しでも感じ取っていただければ幸いかと存じます。

最後に、この演奏会がここまで成長してこれましたのも、ひとえに御来場の皆様、また関係諸氏の御支援の賜物と存じます。一同ここに厚く御礼申し上げますとともに、尚一層の御指導御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

関西六大学合唱連盟

主催 **関西六大学合唱連盟**
後援 **関西合唱連盟**

表紙デザイン 田中昇治
(関西大学グリークラブ)

MESSAGE

||||||| 長 井 齊 (関西合唱連盟会長) |||||||

学生合唱の協調力

去る7月の末日、高野山の合唱講習会で歌われた150名ほどの男声合唱による黒人霊歌は、近來出色の出来栄ではなかったかと感嘆を大にしたのですが、そのまたソロ・パートを受持った数人がそれぞれに大学グリー出身とあって、一般合唱団のレベルが今日の高さに達していることに、大学合唱の貢献度の少なくないことを思わないではおられなかったのです。また講師としてお迎えした増田順平氏の、関西合唱はハーモニーのメッカだとか、いつも日本合唱のリーダーであるようにとか同情のこもった親しいお話しを聴くにつけ、そこには、何となく全関西合唱団相互のハーモニアスな結びれが思い浮かべられるのです。

特に近來は合唱団のジョイント演奏会に伴って、連盟的組織への企画が進み、学生合唱団協調の意向が数多く窺われるのです。

学生合唱連合の歴史は、遠く昭和6年の昔に遡り、所謂旧制大学高専校約40団体による関西学生合唱連盟の結成に始まったのですが、その中には更に地域的關係又は校種別などの小連合もあって、それぞれに定演を盛り上げていたが、その好条件は、参加校全部が男声合唱団ばかりであったことに因るのであろうと推測されるのです。関西六連と私との結びれは、関学、関大ばかりではなく、甲南高校や大阪高工(阪大工学部)を指導したり、同志社や立命館の琵琶湖畔や鷹取山の合宿にまで出かけたことも思い浮かべられるのです。

関西六連は、その時代からすでに連合への足固めをしていたのではあるまいか。それを思うとき、関西の現大学合唱の盛況は、そのような連合による協調の総合力によって築き上げられたのに相異なることを知るのです。

本日この大会場に華々しく展開される六連の第六回は、お互に相牽引し、お互に向上を計るものであってほしいことを念願するとともに、その固き協調力において、更に全関西学生合唱団への強い警鐘であってほしいことを願うのです。

||||||| 北 村 協 一 |||||||

関西六連の合同演奏の指揮をするのは、第一回目に次いで今回で二度目です。関西六連はこのメンバーで結成される以前にもあったのですが、例の学園紛争で続けられなくて中止されたりしましたが、今回のメンバーはなかなか頑張ってる様です。物事すべて、続け重ねられてはじめてその意義がある様に、この会も今後ずっと継続してほしいものです。

今回は一昨年や昨年のようにオーケストラを伴った合同でなく、男声の無伴奏の曲でということになりました。何しろオーケストラと一緒にとなると経費だけでも大変なもので、この辺で少しと思ったのでしょうか。(私が指揮をたのまれる場合は、よくこんな時が不思議に多いのですが)

曲は口パート・シヨウ編曲のイギリスとアメリカの海の唄、海の男達の航海中の唄や望郷の唄、酒盛りの唄など集めて五曲演奏します。オケ伴の演奏におとらない男声の魅力をひき出したいと思ってます。

||||||| 東京六大学合唱連盟 |||||||

第六回関西六大学合唱演奏会の御開催を心より御祝い申し上げます。

日増しに深みゆく秋の気配が感じられるこの季節。そしてこの素晴らしい時期に催される貴演奏会は、今や、関西のみならず全国の合唱愛好者にとりまして、この上なく待ち遠しいものとなっております。

スクールカラーもハーモニーの色合いも異なる六つの大学男声合唱団が、ここ、大阪フェスティバルホールに一堂に会し、お互いに刺激し合い、切磋琢磨し合うことは、誠に有意義な事であると存じます。我々、関西と東京という地域の違いはありましても、音楽を愛し、合唱に情熱を傾け、よりよいハーモニーを追求するその心には、共通の太い絆が存在すると確信しております。

この「激動する現代」において、諸先輩が築きあげてきた伝統を、維持し、発展させてゆく事の難しさを痛感せずにはいられない今日この頃ではありますが、私共の連盟も、貴連盟の音楽に対する真摯な取り組みを見習い、日夜、精進してまいりたいと思っております。

最後に、本日の演奏会の御成功と、貴連盟並びに各合唱団の今後の御発展をお祈り申し上げます。

エール交歓

大阪大学男声合唱団
同志社グリークラブ
関西学院グリークラブ
関西大学グリークラブ
立命館大学メンネルコール
甲南大学グリークラブ

第1部

大阪大学男声合唱団

「DAS LIEBESMAHL
DER APOSTEL」より

作詞作曲 R. WAGNER
指揮 浅田 桂 樹

同志社グリークラブ

「MASS No.2 IN G」より

Kyrie
Gloria
Sanctus
Benedictus
Agnus Dei

作曲 C.F. GOUNOD
指揮 千代沢 修 一

関西学院グリークラブ

男声合唱組曲「蛙の歌」

- 1. 小曲
- 2. 亡霊
- 3. 鰻と蛙
- 4. 蛇祭り行進
- 5. 秋の夜の会話

作詩 草野心平
作曲 南 弘 明
指揮 広瀬 康 夫

Intermission

第2部

関西大学グリークラブ

男声合唱組曲「富士山」

- I. 作品第壹
- II. 作品第肆
- III. 作品第拾陸
- IV. 作品第拾捌
- V. 作品第貳壹

作詩 草野心平
作曲 多田武彦
指揮 松井 博

立命館大学メンネルコール

男声合唱組曲「わがふるき日のうた」

- I. 鰯のうへ
- II. 湖水
- III. Enfance finie (過ぎ去りし子供時代)
- IV. 木兎
- V. 郷愁
- VI. 鐘鳴りぬ
- VII. 雪はふる

作詩 三好達治
作曲 多田武彦
指揮 猪原良成

甲南大学グリークラブ

「MISSA in honorem
Sancti Huberti」

Kyrie
Gloria in excelsis
Sanctus
Benedictus
Agnus Dei

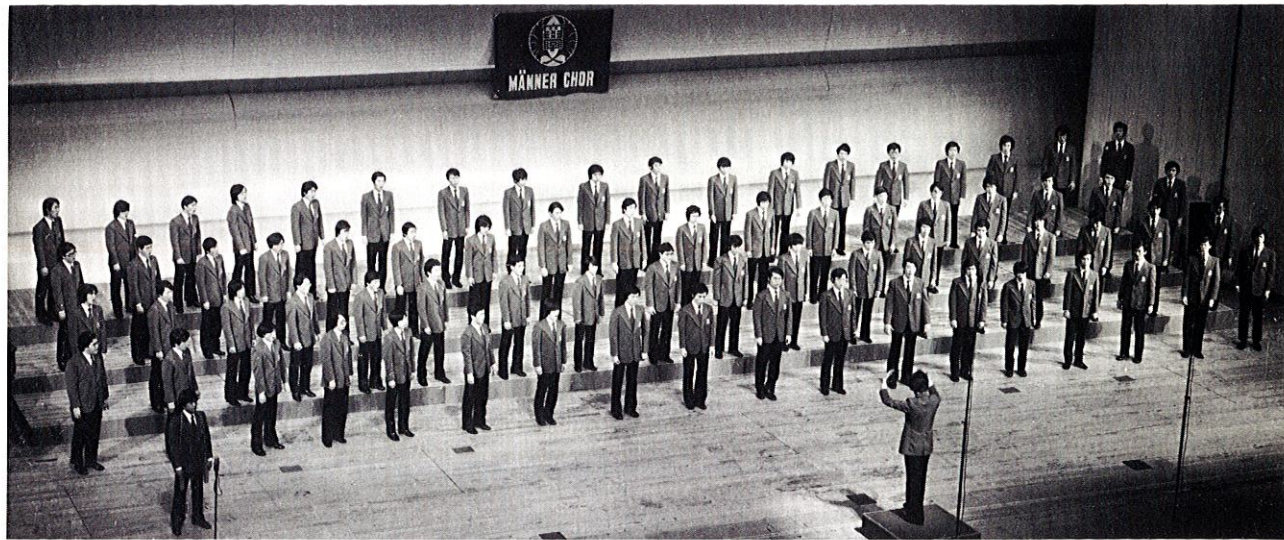
作曲 FRANZ NECKES
指揮 林 純一郎

第3部

合同演奏

「SEA SHANTY」より

編曲 ROBERT SHAW 他
指揮 北村 協 一



こんばんは。女性に対して限りなく寛容で、男性に対しては、これ以上やりようのない程冷酷無比な大阪大学男声合唱団です。昭和26年に創設した時には、僅か十数名であった我団は、三十路を目前にして90名という大所帯に膨れ上がりました。男ばかりの我々は、眠い講義、疲れ果てる実験のうっぶんを晴らすために、又、学生生活のすべてに渡って女性の存在を締め出すハメに自分自身を追い込んでしまった己の宿命を必死で肯定しようと、思いっきり蜜声を張り上げ、男声特有の力強い重厚なハーモニーに身を浸しております。

2時間半の練習を終えても、歌うこと、いや正確に言うとは奇声を発することの好きな我々は、未だ満足せず、集団で大声を上げながら、十三のネオン街を帰ります。ヤーさんや、あやしげなお姉様でひしめく夜の十三も、この声が響きわたるやいなや、顔色を変え、我々のハーモニーに魅せられてか、或いは、精神病院から集団脱走してきたキチガイ連中が通って行く、と思っか、酔っぱらいや、黒シャツ白タイのこわそうなオジサンまでもが、我々を避けて通り過ぎて行きます。これが、週2回は必ずネオン街の中心で起こっているのですから、やがて、十三は合唱の町になるのではないのでしょうか。

このようにして鍛え上げた声は、当然選曲にも反映します。「男声合唱から声を去勢することによって外面的な質をそろえ、軟弱なハーモニーを作っても何の魅力もない。」と考え、過去この演奏会におきましても、コンポジションⅢ、コダーイ作品集、風土記「阿波」コンポジションⅥといずれも、男声合唱としての迫力を、十分に出せる大曲に挑戦して参りました。そして、今年の本邦初演ワグナーの超大作「使徒の愛餐」に挑戦します。高、今宵のステージは、無伴奏の部分だけをお送り致しますが、来年の1月10日、木曜日フェスティバルホールにおいて催される第27回大阪大学男声合唱団定期演奏会に於きましては、オーケストラ伴奏部分も含めた全曲を演奏する事になっております。また、林宏太郎先生への委嘱作品も用意し、充実したステージを皆様にお送りできるようにと、団員一同練習に励んでおりますので、どうぞ御期待下さいませ。皆様の御来場をお待ち申し上げます。

Das Liebesmahl der Apostel

この曲は、リヒャルト・ワーグナー（1813～83）が、曲折の多い遍歴と放浪の時代を終わって、ドレスデンにおけるザクセン宮廷指揮者の地位を得てまもない1843年6月に作曲された。

彼の主要作品でいえば、この時期は、「さまよえるオランダ人」の初演と、「タンホイザー」の準備期に当る。例によって、彼自身のテキストによって書かれたこの“男声合唱とオーケストラのための聖書的情景”は、彼自身が委員であり指揮者でもあったドレスデン合唱協会の主催する第2回ドレスデン男声合唱祭のための作品で、約一ヵ月かかって書きあげられ、合唱祭当日の7月6日に、フラウエンキルヒェ（聖母マリアの教会）で、作曲者の指揮のもとに初演された。

表題の“愛餐”と訳されている“Lebesmahl”は、ギリシャ語の“アガペ”のドイツ語訳で、古代のキリスト教徒達が、お互いの親善と融和のために催した会食のことである。“聖書的情景”という副題が示すように、テキストは、キリスト昇天後の弟子たちの愛餐の一場面——後に聖霊降臨節として祝われることになった出来事を、聖書の叙述にもとづいて描いている。彼がのちに書いているところによると、レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」から受けた深い感動が、こうしたキリスト教徒の会食の場面を、音楽化することを思いつかせたらしい。

オーケストラつきの曲とはいいながら、全曲のほぼ3分の2にあたる部分は、まったく無伴奏で歌われる。曲はまずテノール2部、バス2部の“平和に満ちた”弟子たちの挨拶ではじまる。やがて合唱は3つにわかれ、弟子たちの不安を交互に歌ってゆく。使徒は、四つのパートにわかれたバスによって歌われ、弟子たちの問いに答えて迫害の経験を語る部分で、曲は大きな活気をおびるが、弟子たちの方は一層不安に駆り立てられ、哀願の調子で主の助けを祈り求める。

指揮者プロフィール



浅田 桂樹

山口県出身。その品位あふれる顔立ち、いかにも芸術家を思わせる。楽器を扱えば、腕前は別としても、器用さでは右に出る者がない。六連にもこれほどの指揮者が存在しただろうか。思いあがりも甚い迷指揮者。

生まれる楽しさ
ひろがる喜び

★紙面ご持参の方に
ステキなプレゼント!!

- ティータイム (AM11:00～PM5:00)
コーヒー or 紅茶をサービス
- パブタイム (PM5:00～PM11:00)
ワインカクテルをサービス
(但し、1紙面につき5名様まで有効)

われら
ウェストコースト仲間!

ワインハウス
ウエストコースト

阪急グランドビル27階
TEL.06(315)7780～1

琴の音が流れる和風のお店です

甘党喫茶ルーム お好み焼ルーム

大阪駅前老舗 当店独得の風味をご賞味下さい。

甘党の店

inaka

■営業時間：午前9時30分～午後10時
■定休日：毎月第2日曜日

大阪市北区梅田1丁目3番地 大阪駅前第1ビルB1 TEL 346-5727・341-6563



北京・天安門前にて演奏するグリーンメン

東に清きせせらぎの鴨川、南に京都御所が位置する古都に、新島襄によって同志社が創立されたのは明治8年。そして同志社グリーンクラブはその同志社の小さな聖歌隊が現名誉顧問の片桐哲先生によって「グリーンクラブ」と名付けられて以来、今年で75周年を迎えます。この四分の三世紀に渡る長い伝統と、重厚なハーモニーを今日まで堅持し得たのも、皆様の暖かい御支援の賜と部員一同感謝しております。

さて、私達はこの75周年を記念して、去る7月20日より2週間に渡って、戦後の大学合唱団としては初の中国演奏旅行を行なって参りました。上海を振り出しに南京、西安、天津、北京の五都市を訪問し、各都市で演奏会を開くことが出来ました。出発前は音楽的に未知（特に合唱において）の国とあって多少の不安はありましたが、中国人民の熱烈な歓迎と中国側関係者の心暖まるもてなし、そして何よりも演奏会での聴衆の熱心な態度によって、それは解消されたのでした。

各地での演奏会はいずれも満員で、南京では切符が2時間で売り切れる程で、また北京では北京放送局が演奏会の模様を録音にきました。また上海空港、南京駅、天安門、北京空港など行く先々で友好の歌声を披露する機会が与えられ、その度に人垣は幾重にもふくれ上がり、鳴りやまない拍手、聴衆と一体となった大合唱の余韻は、今なお私達の耳にこだましております。また各地での演奏会後には必ず地元の歌舞団の音楽関係者の方々との交流会が設けられ、私達の演奏に対する意見、並びに中国の音楽について話し合うことが出来、たいへん勉強になりました。

このようにして私達グリーンメンは、日本では決して味わうことのできないような聴衆の反応を肌で感じ、かの広大な地に、友好親善使節としての確かな足跡を残すことが出来ました。そしてこの中国演奏旅行で得た、なにものにも替えがたい経験を生かして、今後の演奏活動を続けて行きたいと思っております。

最後に、私達は福永陽一郎、富岡健、大久保昭男諸先生方の御指導のもとでより良い音楽を創り出すべく努力を重ねていくつもりでございます。

■■■■■■■■■■ MASS No.2 IN G ■■■■■■■■■■

シャルル・グノー (Charles François Gounod 1818~93年) は、フランスオペラ史上の不朽の名作「ファウスト」によって、アンブロアーズ・トーマ、ジョルジュ・ビゼー、ジュール・マスネらとともに、フランス近代オペラの作曲家として広く知られている。しかし、宗教的作品にも数多くの名曲を残し、ミサ曲だけでも18曲にも及んでいる。

グノーは1839年から43年までの4年間、フランス・アカデミーの給費生としてイタリアに留学し、この間に彼の全ての音楽の出発点となったものを学びとった。それはイタリアの古典、特に彼が生涯深い敬愛を捧げたパレストリーナの音楽であったことは意味深い。その後、フランスに戻ったグノーは、外国伝道教会の楽長兼オルガニストに就任した。しかしこの頃彼はまだ、僧職と音楽家との間で迷い、作曲家として立つ決心が容易につかず、約2年間神学の研究に没頭した。その後、ようやく音楽家として立つ決心を固め、1851年以後次々とオペラを発表していった。しかしこうして積極的に劇場に進出してからも、並行して宗教音楽を書くことをやめなかった。特に晩年になって、彼は専ら宗教的神秘主義の中に身をひそめ、教会音楽の作曲に力を注ぐようになった。

グノーの音楽は、「官能」と「神秘」という二元的な性向の融合によって実現されたものであり、宗教的信仰と劇的抒情性が、彼の本質にある二つのエッセンスである。そのことは特に、晩年の作品に共通してみられ、単なる形式的な教会音楽の域を超えた、いわば「劇的宗教音楽」ともいべき性格のものである。1852~60年の間に作曲された「第2男声ミサ」は、こうした背景のもとで生まれた作品の中で最も著名なものの一つである。

指揮者プロフィール



千代沢 修一

昭和31年埼玉県に生まれる。幼年時代から楽器に親しみ、高校時代より県立川越高校吹奏楽部のユーホニウム奏者として活躍。昭和51年、同志社大学経済学部入学と同時にグリーンクラブに入部。昨年副指揮者として経験を積み、この春第48代学生指揮者に就任した。彼の体に似合わぬダイナミックな指揮に胸をときめかせた中国女性も多いとか……?

同志社グリーンクラブ 第75回定期演奏会

〔曲目〕 MASS No.2 IN G
日曜日～ひとりぼっちの祈り～
MAN OF LA MANCHA
島よ

〔指揮〕 福永 陽一郎
富岡 健
千代沢 修一
〔ピアノ〕 山本 優子
山本 篤子

全席自由 ¥800

1980年1月8日(火) PM6:30開演 京都会館第一ホール

〔連絡先〕 同志社グリーBOX 075-431-9743

OMC OBCミュージックセンター

スタジオ使用料金(1時間につき) ()は会員料金です 阪急ファイブサウンドジム

Aスタジオ	Bスタジオ	Cスタジオ	Dスタジオ	Eスタジオ	Fスタジオ
¥10,000(¥8,000)	¥1,500(¥1,000)	¥2,500(2,000)	¥2,000(¥1,500)	¥1,500(¥1,000)	¥2,000(¥1,500)
137㎡	16㎡	33㎡	25㎡	16㎡	25㎡

★A会員(年会費¥2,000円)
コンサート、催し物のご案内及びチケット先行予約受付、

★B会員(入会金¥200)
コンサート、催し物のご案内

レンタル器材使用料(1回につき)

ギターアンプ(J-85)2台	¥1,500(¥1,000)	IL/トランスアンプ(CP-30+A4115H)	¥500(¥300)
ギターアンプ(J-85)2台		コンボオルガン(YC-20)+(RA70)	¥500(¥300)
ベースアンプ(J-100B)		アンプライトピアノ(YAMA IU3H)	¥1,000(¥500)
ドラム(YD-520W)		マイク(SHURE58)	¥200(¥100)
P.A.ミキサー(PM-21)			
P.A.スピーカー(A4115H)2台			
マイク(SHURE58)3本			

御問合せ ■〒530 大阪市北区角田町5番5号 阪急ファイブ8F ☎(06)312-5131



80周年記念演奏会 1979.9.2 大阪フェスティバルホール

日本最初の男声合唱団として1899年に創立した関西学院グリークラブは、本年、80周年を迎え、去る9月2日にはフェスティバルホールにおいて記念演奏会を開催し、新月会、大学、高等部、中学部の大合唱で喜びを高らかに歌いあげました。

この大きな節目を迎えまして、長い歴史をふり返りますと、学院の宗教的な雰囲気や内外の暖かい御指導に恵まれた事と共に、先輩方の合唱への情熱がひしひしと伝わってくるのです。全日本合唱コンクールでの数次にわたる優勝、過去6回にわたる海外遠征などはその情熱の賜物だといえるでしょう。しかしそれにもまして、私達が先輩達の強い情熱を感じずにはおれないのが、グリーホールの建設なのです。

グリーホールは、グリークラブの70周年の年である昭和45年に建てられました。建設以前には、練習場を求めてオルガンを持って移動するという“ジブシー生活”を行っていたと聞きます。その生活に終止符をうつべく全員、OBの方々が力をあわせてグリーホールが建てられたのです。その苦労は、想像を絶するものであったはずですが、そこに、先輩方の情熱というよりは何か合唱に対する執念を感じずにはおれないのです。又、先輩方を支えて下さった多くの、関学グリーの合唱を楽しみにして下さる皆様の事を考えずにはおれないのです。

私達は、今、学生として恵まれすぎる環境の中で、その幸せをかみしめながら、日々の練習に励み、より魂のこもった音楽をめざすべく、たゆみない努力を重ねてゆくつもりです。そうする事が、本当に心から私達を応援して下さいの方々への感謝につながると信じるからです。

今後も、林雄一郎先生、北村協一先生、畑中良輔先生、大久保昭男先生等の諸先生方の御指導のもとに、たゆみない努力を重ねてゆくつもりでございます。

NM ニュー ミュンヘン

- 本社 TEL (312) 0131
- 本店 TEL (311) 3381
- 北大使館 TEL (312) 9151
- 南大使館 TEL (211) 8828
- 南大使館別館 TEL (211) 7248
- 貴賓室 TEL (364) 7122
- 神戸大使館 TEL (391) 3656
- ナンバ大使館 TEL (633) 8461
- 見本市大使館 TEL (573) 4777
- 香港店日本料理大阪 TEL (九竜) 674338

★ SAPPORO BEER HALL

蛙の歌

草野心平の詩による男声合唱曲はかなりの数に及ぶ。その理由は、言葉の平明さ、詩のリズム構造のはげれ良さ、更には全編を流れる男性的な爽快感が男声合唱に向いているからであろう。

この「蛙の歌」にもそういった要素が多分に見られ、確かな実在感のもとに、一つの独特の世界が息づいている。この詩は、草野心平の詩壇デビュー作「第百階級」に収められている。幼年時代を過ごした福島県小川村の蛙たち。そのほのかな郷愁の世界から、前橋の赤倉時代。そこから生まれたこの詩集は、蛙たちの強烈な生の讃歌集である。

第一曲 小曲

雪の降る月夜。それもうす暗い。土の中には何万の蛙。その眼は光っていてもいる。この情景をどんよりした中にも緊張感を失わぬように歌にされている。

第二曲 亡霊

蛙の亡霊たちが憎いヘビを喰っている。ヘビが逃げまどい妖しい亡霊たちの愉悦。熱狂的な田の祭りが繰り広げられる。

第三曲 鰻と蛙

鰻をヘビとまちがえ、怯える蛙。その恐怖感と、鰻と知った時の安堵がみごとに描かれている。

第四曲 蛇祭り行進

数万の蛙がしとめた青大将を高く掲げて行進する。青紫の星空の下、そよかぜの緑の田を螢たちが飛ぶ。初めまことに行進曲。途中しっとり歌い上げた後、また祭り騒ぎとなる。

第五曲 秋の夜の会話

土にもぐらなければならない蛙がその切なさを語り合う。コーラスが第一曲をバックに歌っている所が興味深い。

指揮者プロフィール



広瀬 康夫

昭和32年神戸生まれ、6才の時よりピアノを始め、関西学院高等部よりグリーに親しみ、バリトンパートリーダーとして活躍、関西学院大学経済学部に進学、グリーに入り、常任指揮者北村協一氏に指揮法を学び今日に至る。第47回リサイタルではなほなほデビュー。昨年、イギリス演奏旅行で、カルロ・マリア・ジュリーニと音楽論をたがわす。彼の音楽に対する真摯な態度は部員の厚い信頼を受けている。

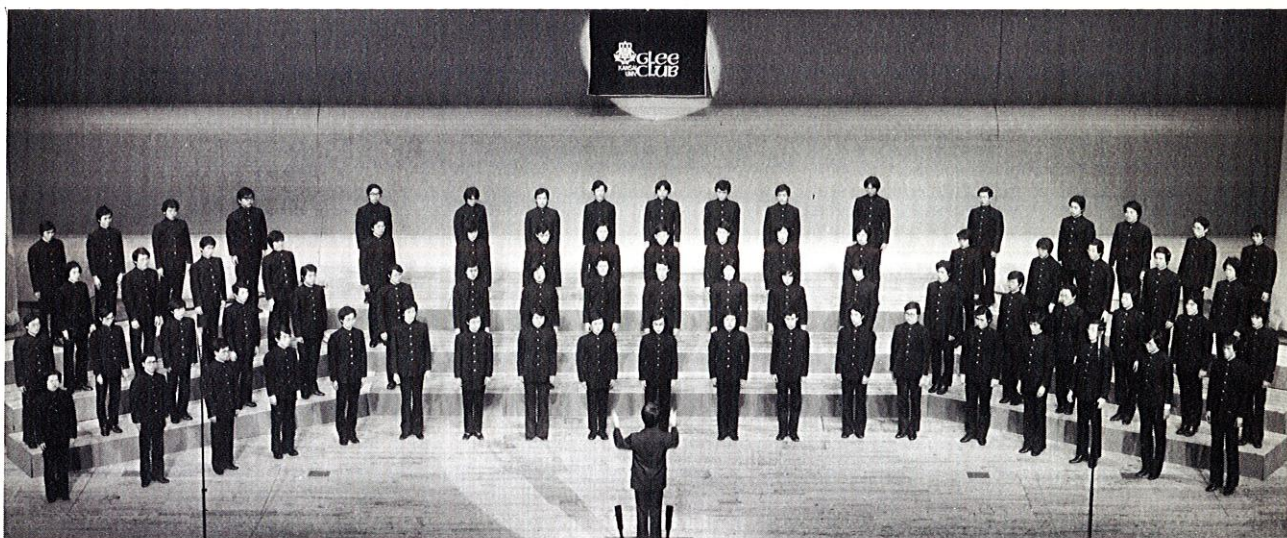
48th 関西学院グリークラブリサイタル

〔曲目〕 MISSA SOLEMNIS (指揮) 林 雄一郎
中勘助の詩から 北村 協一
Beatles Numbers 広瀬 康夫
隠岐四景
Jesus Christ Super Star より

1980年1月26日(土) 6:00PM 神戸文化ホール大ホール
1980年1月27日(日) 6:00PM 大阪フェスティバルホール
〒662 西宮市上ヶ原1番町 関西学院グリークラブ TEL 0798-52-6471

女声ソリスト募集(2名)

- 音域はアルト
- 関西学院グリークラブリサイタル「Jesus Christ Super Star」に出演していただきます。
- 申込締切 11月末日
- オーディション 12月下旬
- 詳しくは下記まで御連絡下さい。



チヨース!!

我々関大グリーは今年、創部30周年という記念すべき年を迎えました。

終戦直後の学園の荒廃と欠乏の中、昭和22年に起った「関大ルネッサンス」は、当時の学生に感銘を与え、それは千里山の緑の台地に文化の新芽をいっせいに植えつけました。そして昭和24年5月、10人程の者が合唱に燃え「関西大学グリークラブ」が誕生しました。以来、桜井吉明氏、木川田誠氏など諸先生方のお力添えを得、着実にその実力を伸ばし、現在専任指導者に横田浩和氏、ヴォイストレーナーに坂口尚平氏を置き、より豊潤なハーモニーの追求をと部員一同練習に励んでいるのです。またあえて専任指揮者を置かず、中国短大の近藤安个先生はじめ京都エコーの浅井敬壹氏、大和銀行の松浦周吉氏などの指導も積極的に受け、また今年は創部30周年記念として三善晃先生に委嘱しました新曲を定期演奏会において、東京混声合唱団の常任指揮者田中信昭先生に初演していただくという画期的なチャンスに恵まれ、これを機会にさらに大きな飛躍をと、部員一同大いに張り切っている次第です。

さて、我々関大グリーの30年の歴史の根底に流れているのは、6大学の主流をしめている「スマートさ」とは無縁の「バンカラ精神」です。某部員の言うように「男だけのクラブにスマートさなんていれへん!!」のです。これは「演芸大会」での想像を絶する乱痴気騒ぎ、壮絶なる「追いかけ」の儀式等、さまざまな(練習時以外の)クラブ行事を見れば一目了然。ま、これらのバカ騒ぎをみなさんにお見せできないのは非常に残念なことでもあります。ただ、もちろん「バンカラ」とはバカ騒ぎすることではありません。遊びと練習のけじめ・目上の人に対する礼儀・何事にも妥協を許さない一徹さ etc…。これらをふまえた=豪快で節目ある男であれ=これが関大グリーのモットーなのです。

現在部員数90余名。その1人1人がこの30年という重みを感じ、先輩がたの築いてこられた輝かしい伝統にさらに新たなページを加えるべく努力してまいります。今後とも、皆様の多大な御批判、御支援を賜りますよう御願ひ申し上げます。ゴツツアンでした。

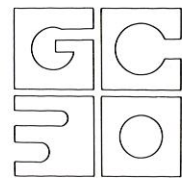
創部30周年記念委嘱作品初演!!

作曲 三善 晃 谷川俊太郎作詩 クレーの絵本第2集
指揮 田中信昭 「ポール・クレーの絵による『絵本』のために」より

他に「MISSA Mater Patris」「富士山」「さすらう若人の歌」OB会千里エコーによる「朔太郎の四つの詩」
指揮 = 近藤安个、岩井孝司、松井 博

第21回 関西大学グリークラブ定期演奏会

12月9日(日) PM6:30 開演 大阪フェスティバルホール



富士山

今宵私達達が演奏致しますこの曲は、もはや男声合唱界ではなくてはならない存在となっている多田武彦氏の第二作です。

こここのところ数年の間、私達は多田作品を年に最低一曲は歌って来ており、最近では最も得意なレパートリーとなって来つつあります。多田武彦氏の作品の特色というものが、非常に良く共鳴し合う音の選び方と、それに加えられた叙情性であるとする事は、一般に広く認められている事であり、従ってその作品群もその多くが優しいリリックな作品であると言う事が出来ると思います。

私達が手がけて来た曲も、「人間の歌」、「雪と花火」、委嘱作「追憶の窓」、「雪明りの道」etc. と、叙情的な作品への傾倒がはっきりと見られます。

「富士山」はそれらの作品群の中にあつて、やゝ異彩を放つスケールの大きな組曲です。前記の様に、これは多田武彦氏の第二作であり、処女作の「柳河風俗詩」が、それ以降の氏の仕事の傾向を提示するかの如く、大変叙情味のある作品であつたことと好対照をなしています。私達も、今までの叙情的組曲路線から一歩踏み出して、この大曲に挑戦してみる事に相成りました。

組曲のテキストは、草野心平氏の詩集「富士山」より抜粋された五編の詩によつています。巻頭、「日本の未来におくる」と記されたこの全二十六編から成る詩集は、大体1940年ごろに着想されていた様です。心平氏の立場からの未来とは、当時の世相をかえりみれば明らかな様に、戦争の終わった後の平和な社会であり、詩集全体に平和への切なる願いがこめられていると考えられます。この事は詩集の最初に収録された「作品第壹」に「夢みるわたくしの。富士の祭典。」とある様に、祝祭の詩で詩集が始まっている事にもあらわれています。これらの祝祭は、もちろん平和への祝祭であることでしょう。その平和への願い、ひとつの心象を投影する対象として富士山というものが選ばれたと言うことは非常に自然とも言えますか、さもありませんと思われまふ。

今宵、私達も富士への民衆の或る種の信仰や畏怖、そして草野心平氏の託した平和への願いなど、含蓄の多いこれらの詩を、精一杯歌ってみようと思つています。御傾聴下さい。

指揮者プロフィール



松井 博

昨年の定演デビュー以来、三味線をベースとした音楽性と甘いマスクと男心(?)をくすぐるような指揮で、数々の観客を魅了してきた彼が、今宵のステージでは皆様のハートをどの様に直撃致しますか、御期待下さい。

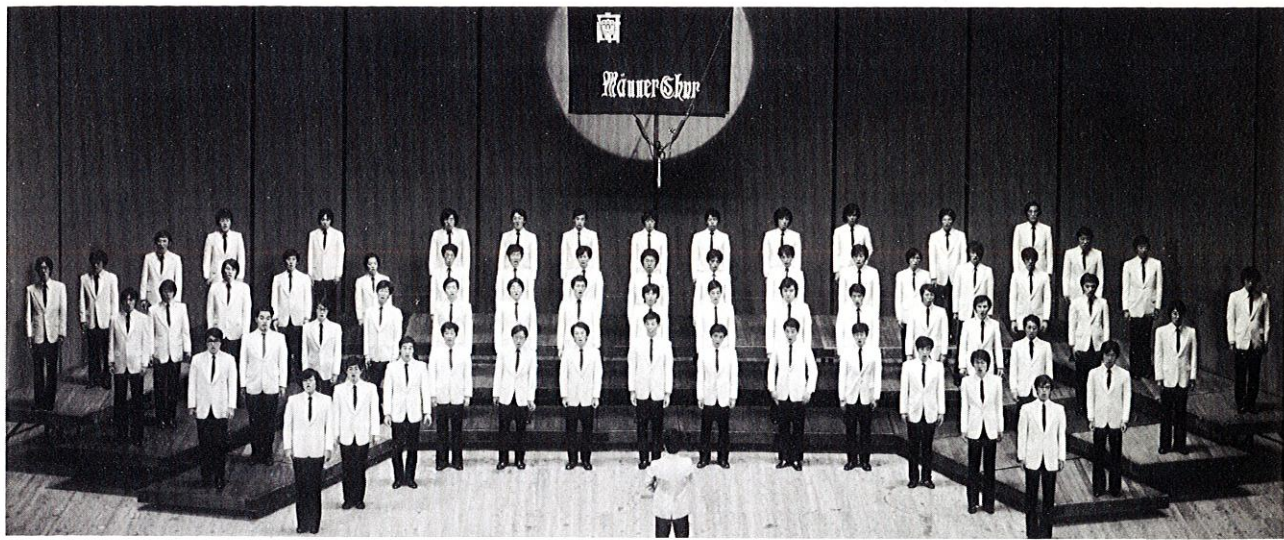
デザイン・企画

印刷を通じて気さくなおつきあい

中央印刷

各種パンフレット・案内状 チケット類

大阪営業所 大阪市南区谷町6丁目40-1 ☎06(763)2632
第5マツヤビル10F(地下鉄谷町6丁目下車50m)
本店 堺市・鳳中町8丁目286 ☎0722(63)2272



立命館大学メンネルコール。今年満33歳をむかえ、壮年期のバイタリティーにまかせ今年も気力充実。今宵1年ぶりの関西六大学合唱演奏会のステージに、にぎにぎしく京都から参上しました。では、さしでがましいようですが、この文を書いている私＝筆者が、ざっとメンネルコールの紹介をいたすことにしましょう。筆者は彼らの団友であります。独断と偏見で彼らの本質をあげこうと考えています。

まず他の五大学に比べるなら、同志社よりは美男が多い。阪大のぎょうぎょうしさ、関大のどんくささ、甲南の軟弱さ、関学のいい子ちゃんぶり等とは無縁。メンネルコールは知性と教養と品位そして美貌がうりものです。もと言及するならば、知性とはいかに他人のあげ足をとりクラブにおける自分の地位を守るかということで、教養とは、もちろんギャンブル。そして品位とは、女の子の前でいかにネコをかぶるか。美貌とは、醜・美の判断は主観的なもので、自分のことをどう思おうと勝手だということなのでしょう。結論はさて……？

ともかく男60数人。彼らの歌う姿をごらんください。“何がおもしろくて”という疑問を筆者は禁ずることはできません。彼らは自分達の立場（女性がない）に絶望しているのです。しかし彼らは、その落下点で目ざめている。そう、はてしない喪失感の中で彼らは、音楽という深い泉へ美に相対しているのでしょう。

今宵、彼らの演奏します曲は「わがふるき日のうた」。彼らはこの曲が好きで好きでたまらないのです。三好達治の詩は、彼らの感受性をさかなでしたようです。美しいイメージ、そして現代的なペーソス、ペシミズムの底にただよう優しさ。この曲は彼らのものだと思えます。そして練習の最後にいつも、恋人を愛するように、私は“この合唱団メンネルコールを愛す”と歌う彼らの合唱への寡黙で優しい情熱を、一人でも今宵の演奏会で理解してもらえたら彼らは満足することでしょう。

今宵の演奏会、そして11月25日(日)京都都会館第一ホールで行われる定期演奏会と彼らの努力が結ばれんことを。

春夏秋冬…古都へのいざない

東山の高台から古都を一望



京都・東山・けあげ
都ホテル
☎(075)771-7111

新幹線口から歩いて1分



京都駅八条口
新・都ホテル
☎(075)661-7111

わがふるき日のうた

三好先生の詩のなかから、人間が誰しも経験する日常生活の一こま一こまをしみじみ詩いあげた七つの詩を選んで「わがふるき日のうた」を作った。今まで何回試みても駄目だった三好先生の詩が、こんなにすばらしくこんなに音楽的であることに気がつかなかった自分が恥かしく思えて来た。一つ一つを解説するより、それぞれの詩の一字一句がすべてを語ってくれる。

この曲は、我がメンネルの友、明治大学グリークラブの委嘱作品でありまして一昨年の第26回東京六大学合唱演奏会で初演されました。先の文は、そのときのプログラムの作曲家多田先生自身の曲目解説の一部であります。確かに自己の純粋な感動や情緒を主観的に述べた三好先生の詩は、すばらしい。また、それにも劣らず多田先生の曲づけがすばらしいのであり、かつ詩と曲がピッタリと融合している。まったく「するめ」みたいな曲である。歌い込めば歌い込むほど味がでてくるのである。

今まで多田先生の曲を数多く歌って来た自分達ではあるがメンネルライブにおいてこの名曲「わがふるき日のうた」を歌えるなんて最高にしあわせである

●男声合唱組曲 「わがふるき日のうた」

作詩 三好達治
作曲 多田武彦

I. 鶯のうへ

あはれ花びらながれ
をみなごに花びらながれ
をみなごしめやかに語らひあゆみ
うららかな登音空にながれ
をりふしに睡をあげて
鶯りなきみ寺の春をすぎゆくなり
み寺の響みどりにうるほひ
廂々に
風鈴のすがたしずかなれば
ひとりなる
わが身の影をあゆます鶯のうへ

II. 湖水

この湖水で人が死んだのだ
それであんなにたくさん舟が出ているのだ
葦と藻草のどこに死骸はかくれてしまったのか
それを見出した合図の笛はまだ鳴らない

風が吹いて水を切る櫓の音響の音
風が吹いて草や根や蟹の匂ひがする
ああ誰かがそれを知っているのか
この湖水で夜明けに人が死んだのだと
誰かがほんとに知っているのか
もうこんなに夜が来てしまったのに

III. Enfance finie (過ぎ去りし幼年時代)

海の遠くに島が……、雨に梧の花が墜ちた
鳥籠に春が、春が鳥のいない鳥籠に
約束はみんな壊れたね

海には雲が、ね、雲には地球が、
映っているね。

空には階段があるね。
今日記憶の旗が落ちて、大きな川のやうに
私は人と訣れよう。床に私の足跡が、足跡
に微かな塵が……
ああ哀れな私よ。
僕は、さあ僕よ、僕は遠い旅に出ようね。

IV. 木兎

木兎が鳴いている
ああまた木兎が鳴いている
古い歌

聴きなれた昔の歌
お前の歌を聴くために
私は都にかへってきたのが……
さうだ
私はいま私の心にさう答へる
十年の月日がたった
その間に私は何をしてきたか
私のしてきたことといへば
さて何だらう……
一つ一つ私は希望をうしなつた
ただそれだけ
木兎が鳴いている
ああまた木兎が鳴いている
昔の歌で
昔の歌を歌っている

それでは私も お前の真似をすとしてよう
すこしばかり歳をとった
この木兎もさ

V. 郷愁

蝶のやうな私の郷愁！……。
蝶はいくつか籬を越え
午後の街角に海を見る……。
私は壁に海を聴く……。
私は本を閉じる。私は壁に凭れる。
隣りの部屋で二時が打つ。
「海、遠い海よ！と私は紙にしたためる。
——海よ、僕らの使む文字では、
お前の中に母がある。そして母よ、
仏蘭西人の言葉では、あなたの中に海がある。

VI. 鐘鳴りぬ

聴け
鐘鳴りぬ
聴け
つねならぬ鐘鳴りいでぬ

かの鐘鳴りぬ
いざわれはゆかん

おもひもうけぬ日の空に
ひびきわたろう鐘の音を
鶏鳴か五曉がしらす

われはゆかん さあれゆめ
ゆるがせに聴くべからねば
古い歌

われはゆかん
牧人の鞭にしたがふ仔羊の
足どりはやく小走りに

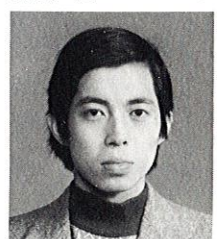
路もなきおどろの野すゑ
露じもしげきしののめを
われはゆかん
ゆきてふたたび帰ろこざらん

いざさらばうかららつねの
日のごとくわれをなまぢや
つねならぬ鐘の音声
もろともに聴きけんをいざ
あかぬ日のつひの別れぞ
わがふるき日のうた

VII. 雪はふる

海にもゆかな
野にゆかな
かへるべもなき身となりぬ
すぎこし方はかへりみそ
わが肩の上に雪はふる
雪はふる
かかるよき日をいつよりか
われの死ぬ日と願ひてし

指揮者プロフィール



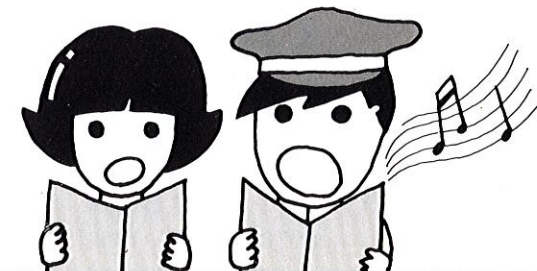
猪原良成

彼にまつわるエピソードは多種多様を極めるが、彼の人間性を表わしても余りがある。たとえば練習中に発する掛け声。バイタリティーに溢れ、その実ナイーブで優しい人間性は下回生に深く親われている。今宵晴れのステージ、フェスティバルホールに彼の優しさが満ち溢れることでしょう。

歌え青春／ひびけ心に！

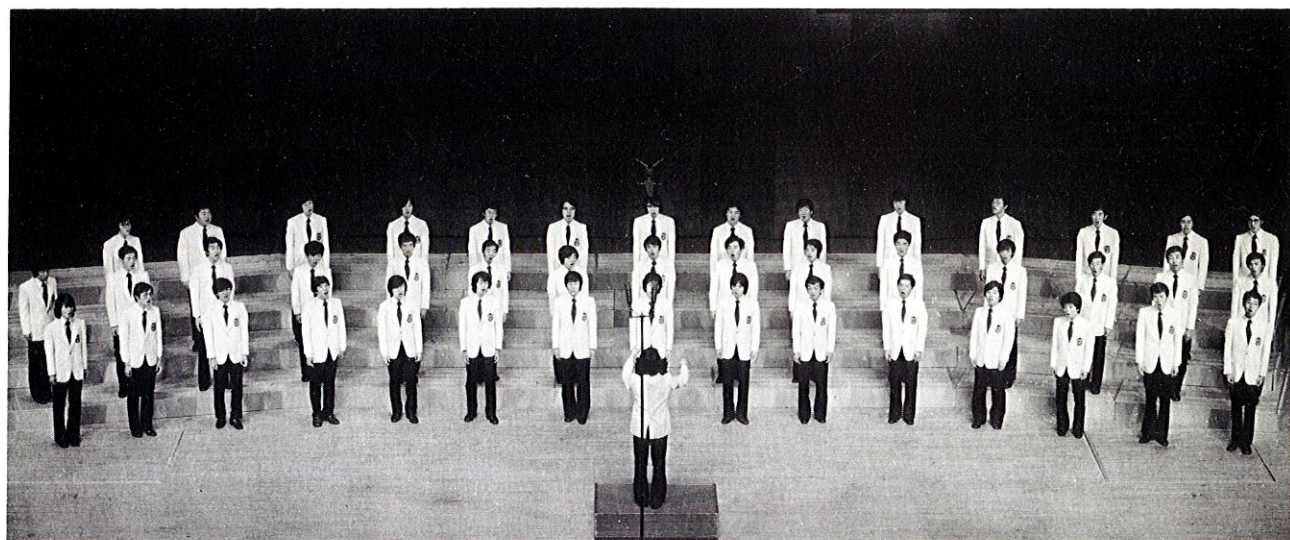
声高らかにミドリノ

若いうたごえは燃える生命の
ひびきをつたえます。中信も
そんなはつらつとした姿勢で
日々のお役に立ちたいのです。



中信

京都中央信用金庫
本店・西条丸西 TEL223-2525(大代)



今晚は。我々甲南大学グリークラブは、緑深き六甲山のふもと、神戸の岡本という閑静な住宅街の中で日夜練習を続けています。そして春以来、学習院・甲南交歓合唱演奏会、神戸三大学交歓合唱演奏会と活動してきました。

しかし、こんな風に穏やかに見える我クラブにも、その裏には色々なことがありました。では、その時の日記を開いてみましょう。

12月15日 雪のち晴

今日は役員改選がありました。就職を有利にしようとして部長、演奏会で目立ちたいため指揮者、女子大のマネージャーとミーティングと称してデートするチーフマネージャーに立候補者が多数現われ、あわや乱闘かくじ引きかということになりそうでしたが、結局順当に成績順(注・悪いもの順)ということになり、クラブ解体の危機は免れました。

4月9日 快晴

今日は入学式の日です。そして新入生歓迎という戦争の始まりです。口八丁、手八丁嘘つき放題のその手口を紹介しましょう。

歌好きの新入生

こんな奴には、クラブの活動を徹底的にまくし立て、歌っているところを見せるのです。始めから半ば入部する気がありますから簡単です。

ひもじい顔をしている新入生

腹が減っているな、と思ったら「チョット昼メシ食べに行こか」と誘い、以後キャンパスで会う毎にメシを食わせ、おごりにおごり倒してしまうのです。

スケベそうな新入生

歌のことなど全く話に出さず、女子大との合ハイ・合コンのことばかり話し、女の子には不自由しないぞ、と思わせるのです。

9月16日 曇り

夏休みも過ぎ、前期試験を控え頭がおかしくなったのでしょうか。「オレは、加山 雄三だ」と名乗る部員が出現しました。他の部員は彼を無視しましたが、私一人事実調査をしたところ、確かに彼は「かやま ゆうぞう」でした。彼の成績表を見てしまったのです。可が山ほどあって優が三つなのを。そうです、彼は「可山 優三」なのでした。

今日はこのようなことを顔に出さず、六大学で一番少ない部員数ですが、六大学随一のチームワークで甲南ハーモニーをお届けします。

チューダー王朝風の格調高い

本格派パブ・レストラン

グラスゴー

《パーティ・コンパにご利用下さい》

西宮北口店

阪急西宮北口西出口
☎ 0798-65-6551

宝塚店

サンビオラ3番館B1
☎ 0797-72-1355

岡本店

阪急岡本
☎ 078-452-8877

MISSA in honorem Sancti Huberti

作曲者フランツ・ネッケスは、1844年2月14日エッセンのフットロンで生まれ、1914年5月6日アーヘンで亡くなりました。

Kyrie

主よ、あわれみたまえ。キリストよ、あわれみたまえ。主よ、あわれみたまえ。

三つに分けて三回ずつ唱えられるこの祈りは、三位一体になる神、すなわち父、子、御霊の神にあわれみを請うものです。

Gloria in excelsis

キリエが終わるとミサにおいては司祭が、「天のいと高きところには、神に栄光あれ」と先唱し、会衆あるいは、聖歌隊が応答します。キリエの嘆願にひき続いて歌われるこの讃歌は、救い、あわれみにあずかった者の神にささげるその栄光の頌歌として、ふさわしい歌です。

Sanctus

聖なるかな 聖なるかな 聖なるかな万軍の神なる主、主の栄光は天地にみちあふれ、いと高き所までホザンナ

神の聖と選ばれた聖民の救いを説いたイザヤが、召命の際にみたケルビムの呼びかわす言葉、すなわち天上の声としてのサンクトゥス、そして次のベネディクトゥスが、地上の声として両者が一つになって、壮厳な讃歌となっています。

Benedictus

主の御名によりて来れるものは、祝せられさせ給え いと高きところまでホザンナ

イエス・キリストのエルサレム入城の際に民衆が、呼びかわした言葉、民衆の歓迎の讃歌です。

Agnus Dei

世の罪をのぞきたもう神の羔 われらをあわれみ給え われらに平安を与え給え

バプテスマのヨハネが、弟子たちにイエス・キリストを紹介するに際して、「見よ世の罪を取りのぞく神の羔」と言ったと言われています。罪のあがないを願って神にささげられた子羊に例えられるイエス・キリストは、その言葉どおり十字架に架けられ、自らの血で世の罪をのぞき給いました。イエス・キリストの御身体と御血とをうける聖体拝領の準備としての祈りです。

指揮者プロフィール



林 純一郎

彼の指揮をしている時の真剣な目と、女の子と話している時のデレーツとした目。どなたか彼の目を見比べてみませんか。

オルガン伴奏者



岡安 早苗

相愛女子大学音楽学部卒業。
井口基成、井口愛子、矢田映子
諸氏に師事。
現在二期会関西支部伴奏者として活躍。

ロマンチックな夜って なんてでしょう
第27回 甲南大学グリークラブリサイタル

12月13日(木) 開演6:30P.M 神戸文化ホール

〈指揮〉 前田幸市郎

大森栄一

林純一郎

〈伴奏〉 岡安早苗

森本恵子

〈曲目〉 雪国にて

碑

「マイフェアレディ」より

MISSA

〈お問合せ先〉 TEL 078 (591) 0478

南波展樹

「Sea Shanty」について

オックスフォード辞典によれば「水夫の歌・重労働の時歌う歌」となっている。Sea Shanty はもともと船上での重労働のとき、元気づけのためにかけ声をかけるといのが歌になったといわれている。やがては労働歌ばかりでなく水夫の歌すべてをシャンティと呼ぶようになった。広い大洋の上を何ヶ月も航海する水夫たちにとって、歌は彼らの大きな娯楽であり、レジャーのひとつときであった。陸に上がれば酒場でシャンティを歌う。それがだんだん広まっていった。シャンティを3つに分類すればおよそ次のようになる。

①Hauling Shanty

帆の巻き上げなどの重労働の時に歌われるもので、水夫長または音頭取りの独唱に従って、声をそろえて力を出すという純然たる労働歌である。

②Windlass and Capstan

いかりの巻き上げやドック入りの引き船の時などに歌われたもので、時間がかかるので長いものも多く、音楽的に優れた歌が沢山ある。

③Foc'sle Shanty

これは全く Work Song ではなく、船乗りたちが仕事のない時に、ギターやバンジョー、時には口笛などを伴奏にして、故郷や恋人などを思い出し、武勇・酒・女などについて自慢するバラード風の民謡である。

節の力強さや色どり豊かなイディオルは、シャンティの遺産を半ば代表するに過ぎず、更に重要なシャンティの特色は、海の男の物語を生き生きとした実感をこめて聞くものに感じさせ、歌を通じて塩気を含んだ空気を吸い、広い大洋を航海し、機械化されていなかった時代の労働に汗する水夫たちに仲間入り出来ることだと言える。

指揮者プロフィール



北村 協一

昭和29年、関西学院大学経済学部卒業。在学中、関西学院グリークラブの指揮者として活躍。卒業後、東京コラリアーズ入団。昭和36年藤原歌劇団入団、昭和38年同団によるブッチーニ「外套」を指揮し昭和40年退団。昭和43年、二期会合唱団常任指揮。昭和45年二期会専属指揮者となる。第6回文化庁芸術家海外派遣研修生として昭和48年渡欧。畑中良輔、森正、今村征男の各氏に師事。現在、二期会専属指揮者。東京室内歌劇場指揮者。

合同演奏に寄せて

ロバート・ショウはロジャー・ワグナーとならんで現在アメリカの合唱界をリードする音楽家です。指揮も素晴らしいものがありますが、彼は数々の秀れた合唱曲の編曲を手がけています。

彼の場合はロジャー・ワグナーと違って、少ない音でその曲の特性を表現したものが多く、各声部は殆んど分かれることがありません。ロジャー・ワグナーの場合はよく各声部が分れる結果、響きが部厚くなりますが、ロバート・ショウの場合は透明な感じをうけます。それでいて各声部に流れをもたせているため、一見やさしそうな譜面づらですが、それぞれのパートに力がないとなかなか曲のまとまりが出来ないという編曲が多い様です。

今回の海の唄は彼の編曲の中でも新しく、各パートがそれぞれ大変の様です。六連の男声がどこまでこなせるか(勿論英語も)、彼らも張り切ってる様です。

編曲者ロバート・ショウについて

ロバート・ショウは1916年にカリフォルニアに生まれた。1937年、大学のグリークラブの指揮をしていた頃、当時ラジオの人気合唱団の指揮者フレッド・ウォーリングに認められ、ニューヨークに招かれて合唱団を組織した。1941年には、ボストンでカレッジイト合唱団を組織した。そのすばらしい合唱団の成長は、指揮者でありトレーナーであるショウの名を高らしめた。さらにストコフスキーにも認められ、メトロポリタンにおける復活祭演奏会に出演して、名声を不動のものにした。

第二次大戦後、彼は32人のプロフェッショナルな歌手をあつめてロバート・ショウ合唱団を結成し、1950年代から60年代にかけてロジェ・ワグナーと並ぶ人気コーラスとして君臨したが、合唱団を解散して管弦楽指揮者に転向。現在はアトランタ交響楽団の音楽監督を務めている。

○Swansea Town

スワンシーは、イギリスのウェールズ地方にある港町である。恋人に別れをつけて出港し、ホーン岬をこえてサンフランシスコへ行くけれど、なつかしいスワンシーの町と恋人の許にまた戻ってくるという船出の歌で、行進曲風の明朗さにあふれている。

○Haul Away, Joe

典型的な Hauling Shanty でソロの歌詞にルイ16世が首をはねられた様子などがコミカルに歌われている。

○What Shall We Do With The Drunken Sailor

イギリスの労働歌としては最も古いもので17世紀の頃から唄われていたといわれている。楽天的な水夫の気質まるだしのコミカルな曲。

○Lowlands

ノスタルジーにあふれたアメリカのシャンティで、そのオリジナルは、南部航路の水夫がニグロスピリチュアルにヒントを得て歌いはじめたのではないかとされている。

○Whup Jamboree

シャンティの中には、水夫の故郷の民謡のイディオムをそっくりとり入れたものが少なくない。この Foc'sle Shanty はアイルランドのリールという民族舞曲のリズムと技法をとり入れている。ジャンボリーというのは人々が集ってお祭りさわぎをするような意味のことばである。





大阪大学学生歌

生駒の嶺に 朝影さして
 緑風さやけき 銀杏の木蔭
 若さいのちは 力あふれて
 歌そおほらに 望みはるけし
 叡智の泉 掬みてつきせず
 ほこりあり 真理の岡辺

立山澄夫 作詞

DOSHISHA COLLEGE SONG

作詞 W.M.Vories

作曲 Carl Wilhelm

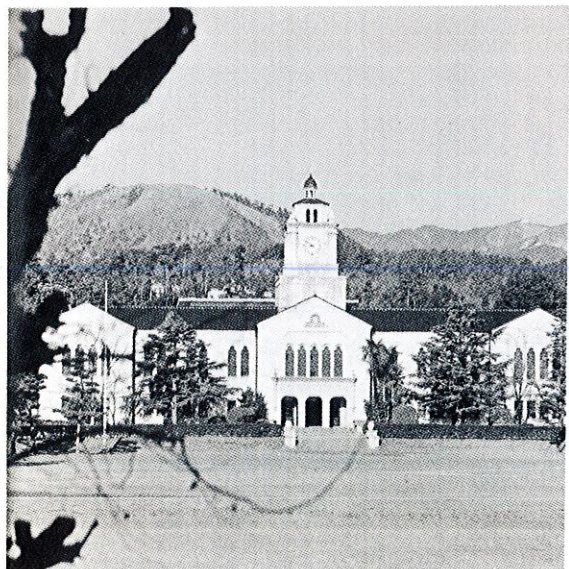
One purpose Doshisha, thy name
 Doth signify one lofty aim.
 To train thy sons in heart and hand
 To live for God and Native Land.
 Dear Alma Mater sons of thine
 Shall be as branches to the vine.
 Tho' through the world we wander far and wide,
 Still in our hearts thy precepts shall abide.



OLD KWANSEI

編曲 林雄一郎

Tune ev'ry heart and ev'ry voice,
 Throw ev'ry care away;
 Let all with one accord rejoice,
 In praise of Old Kwansai;
 In praise of Kwansai Gakuin,
 In praise of Old Kwansai,
 Her sons will give, while they shall live,
 Banzai, Banzai, Kwansai!



関西大学学歌

作詩 服部 嘉香
 作曲 山田 耕作

自然の秀麗 人の親和
 たぐいなき 此の学園
 我等立つ 人生の曙に
 燦たる理想を 仰ぎつつ
 学ぶは一途 純正の
 若き心に 讃えなん
 関西大学 関西大学
 関西大学 長き歴史



立命館大学校歌

作詩 明本 京静
 作曲 近衛 秀麿

赤き血汐胸に満ちて
 若人真理の泉を汲みつ
 仰げば比叡 千古の緑
 俯す眼に清しや 加茂の流れの
 鏡もとうとし 天の命名
 見よ 我が母校
 立命 立命



甲南学園歌

作詩・寿岳 文章
 作曲・信時 潔

みはるかす 茅渚の海
 日にひかり 雨にけむり
 わかうどの 夢をさそう
 甲南 この学び舎

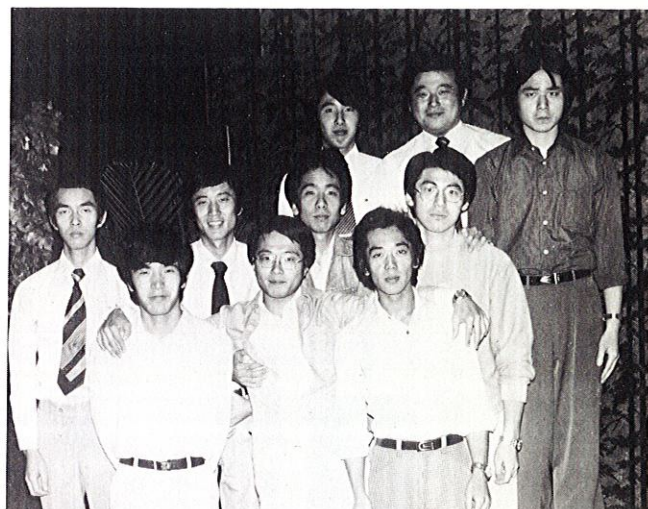


■ 関西六大学合唱連盟常任委員

大阪大学 住友 西次
 同志社大学 中田 英之
 関西学院大学 土田 邦和
 関西大学 大石 直紀
 立命館大学 国本 孝
 甲南大学 南波 展樹

■ 第6回演奏会実行委員

大阪大学 河瀬 耕
 同志社大学 大北 稔
 関西学院大学 木田 雅夫
 関西大学 森 兼敏 文
 立命館大学 松井 伸夫
 甲南大学 佐藤 考平

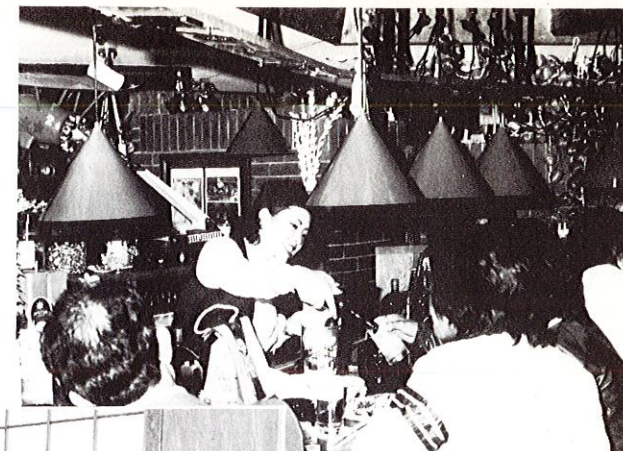


■ 各校の定期演奏会スケジュール

- '79 11月25日(日) PM2:30
 第33回 立命館大学メンネルコール定期演奏会 (京都会館第一ホール)
- '79 12月9日(日) PM6:30
 第21回 関西大学グリークラブ定期演奏会 (大阪フェスティバルホール)
- '79 12月13日(木) PM6:30
 第27回 甲南大学グリークラブリサイタル (神戸文化大ホール)
- '80 1月8日(火) PM6:30
 第75回 同志社グリークラブ定期演奏会 (京都会館第一ホール)
- '80 1月10日(木) PM6:30
 第27回 大阪大学男声合唱団定期演奏会 (大阪フェスティバルホール)
- '80 1月26日(土) PM6:00
 第48回 関西学院グリークラブリサイタル (神戸文化大ホール)
- '80 1月27日(日) PM6:00
 第48回 関西学院グリークラブリサイタル (大阪フェスティバルホール)



ザ・ロイヤル



グランドハブ



ばぶ茶屋

ファイブ
アフター5はどちらのパブへ

心はグランド 心はマイルド 人情 まろやか
グランドパブ ザロイヤル はぶ茶屋

札幌から鹿児島までオンラインで結ぶ——パブチェーン
From OSAKA around Japan

- 札幌
ザ・ロイヤルすすきのビル店
パブキャルズすすきのビル店
- 仙台
ザ・ロイヤル仙台店
グランドパブ仙台店
- 銀座
ザ・ロイヤル銀座店
ザ・ロイヤル新宿文化ビル店
ばぶ茶屋銀座店
- 横浜
ザ・ロイヤル横浜店
ザ・ロイヤル梅田店
グランドパブ梅田店
グランドパブ新御堂店
- 名古屋
ザ・ロイヤルレジャック店
ザ・ロイヤル御園座店
ザ・ロイヤル栄店
グランドパブレジャック店

- バブ茶屋
ばぶ茶屋レジャック店
- 京都
グランドパブ京宝店
- 大阪
ザ・ロイヤル梅田店
ザ・ロイヤル桜橋店
ザ・ロイヤル京橋店
ザ・ロイヤル南店
ザ・ロイヤルキャザ飯急店
ザ・ロイヤル千日店
グランドパブ梅田店
グランドパブ新御堂店
グランドパブ京橋店
グランドパブ難波店
グランドパブ千日店
ばぶ茶屋キャザ飯急店
ばぶ茶屋千日店
- 東大阪
グランドパブ布施店
- 堺
ザ・ロイヤル堺東店
グランドパブ堺東店
- 神戸
ザ・ロイヤル三宮店
ザ・ロイヤルコトブキビル店
グランドパブ阪急西口店
●姫路
ザ・ロイヤル姫路駅前店
グランドパブ姫路駅前店
グランドパブキャルズ姫路駅前店
- 岡山
ザ・ロイヤル岡山店
グランドパブキャルズ岡山店
- 広島
ザ・ロイヤル広島宝塚店
ザ・ロイヤルえびす店

- グランドパブ広島宝塚店
ばぶ茶屋広島堀川店
- 松山
ザ・ロイヤル松山店
グランドパブ松山店
- 小倉
ザ・ロイヤル東急プラザ店
- 博多
ザ・ロイヤル中洲店
ザ・ロイヤル天神店
グランドパブ中洲店
- 長崎
ザ・ロイヤル長崎宝塚店
グランドパブ長崎宝塚店
グランドパブステラ店
- 鹿児島
ザ・ロイヤル中央ビル店
ザ・ロイヤル天文館店
グランドパブ中央ビル店

DAIWA JITSUGYO GROUP 大和実業グループ
 本部 / 大阪市北区芝田2丁目1番18号 西阪急ビル10階 ☎(06)372-8571(代)